**エリアに入る：浦内川ウォーキングコース**

浦内川ハイキングコースは、世界遺産のエリアとして指定されている西表島の中心に続き、マリユドゥ滝とカンビレー滝が見どころの散歩コースである。ここから30分ほど歩くと、マリユドゥ滝がみえ、名前の由来は長径130mの円形の滝壺（マリ）に水が落ち、溜まる様子（ユドゥ）からきている。2段に分かれていて、落差は約16mほどで、日本の滝百選に選ばれている。

マリユドゥ滝から約15分でカンビレー滝に着く。長さ約200mで、浅い岩盤の上から水が流れ落ちる。カンビレーは「神々が座る場所」という意味をもち、神話によると、神々が集って島づくりを相談した場所とされている。岩には多数自然の甌穴があり、中には長い脚が特徴のテナガエビを目撃することが多くある。

散策中、観察できる動物や植物の中には、体長20cm以上にもなる鮮やかな色をしたサキシマカナヘビや、日本最大のどんぐりを実らせるオキナワウラジロガシ等があげられる。運が良ければ独特な真っ赤な嘴、赤い脚、錆びた朱色の体をしたリュウキュウアカショウビンも木の上などで見られることもある。